



おかだ矯正歯科クリニックで
子ども歯科矯正 実況レポート vol.4

今どき

3回目以降、ワイヤーの付け替え、調節など同じような治療の連続ですっかり慣れてしまい、痛みも別段感じないという楽々治療の日々を送っていた息子。しかし、6回目の治療は甘くはなかった。治療を終えて出てきた息子は、すでに痛そうな様子。見れば、上の歯に架かっているワイヤーが、今までのいかにも針金という感じのワイヤーから、まるで巨人の星の飛雄馬がトレーニングに使って



大リーグボール養成ギブスみたいな太いワイヤーがかりました!

いた大リーグボール養成ギブスのようなエキスパンダー仕様へと変わっていたのです! やはり、抜歯をしないという治療方針を選択した結果、より強く引っ張り上げる必要があるようです。ちなみに私が行った成人矯正では、抜歯をして隙間をたくさん作って並べたので、こんなワイヤーは使いませんでした。



ナンスホールディングアーチ

7回目の治療は、さらに進化。上の歯、左右第1大臼歯にリングと呼ばれる金属製のわっかをはめ、このリングにパラタルナンスと呼ばれる装置をつけます。写真のナンスホールディングアーチとよく似た装置で

す。この装置で歯が自分勝手に動かないよう、特に奥歯が前に移動してこないように口蓋も使って支えてやるわけです。これで上の歯は、第1大臼歯までマルチブラケットを装着し、ワイヤーが延べました。「ちなみに、これらの装置は名前の通り、ナンスさんという人が開発したんですよ」と先生。「えっ、そ〜ナンスかぁ?」と思わずおやじギャグを返してしまいました。

次々と装置が増えるにしたがって、いよいよ歯磨きが難しくなってきました。

以前、矯正前は全くと言っていいほど、歯磨きをさぼっていた息子。どうなることかと思っていたら、親が何も言わないのに黙々と歯磨きに時間をかけるようになりました。怪我の功名ならぬ、「矯正の功名」と親として喜ばしく思っています。

藤原竜也君の歯並び良かったら言う事ないので：と感慨映画の広告を見ながら感概にふけてしまうほど、あらゆる人の歯並びが気になる今日この頃。作家の林真理子さんが綺麗になったなあと思っていたら、やはり矯正済み。四捨五入すればアラ還の郷ひろみも現在矯正中だそう。大人になってから矯正するのはいけいけれど、子どもの内にやっておけば、長い人生ぜったいお得ですぞ! (あくび)

★1面に広告あり。